



怖いのは
慣れと 油断と 思い込み

(平成29年度 センター安全就業標語 最優秀賞)

編集 公益社団法人 川西市シルバー人材センター
発行 〒666-0017
川西市火打1丁目10番9号
TEL 072-758-6234
FAX 072-758-3679
<http://www.kawanishi-silver.or.jp/>



猪名川花火大会

今年で69回目となる阪神間の夏の風物詩「猪名川花火大会」が、8月19日・土曜日（荒天の場合は、翌日20日に順延）に開催され、スターマインや打ち上げ花火など約4,000発が、北摂の夜空を彩ります（写真は昨年大会風景）



CONTENTS

平成 29 年度定時総会を開催 …………… 2	中期計画～チャレンジ&トライ～ …………… 6
新しい職員を紹介します …………… 3	がんばってます!!・・・職場訪問 …………… 6
安全就業 …………… 4	地域班の活動紹介…………… 7
生き活き“健幸”① …………… 5	事務局からのお知らせ …………… 8

平成29年度定時総会を開催

雪岡理事長 新たな就業開拓に全力で!!

5月26日(金)に、アステ市民プラザ・アステホールで、平成29年度定時総会を開催しました。(会員総数1,259名のうち、出席者69名、委任状689名、計758名)

初めに、雪岡健次理事長が、「4月公表の推計人口に関わる報道では、『15〜64歳の現役世代人口は、50年後、4割以上減ると推計され、社会の担い手をどう確保していくのか。政府の「一億総活躍プラン」は、女性や高齢者にも加わってもらい、経済活動の維持を図る狙いから、今後、65歳以上の雇用延長も進める方針で、高齢者が「支えられる側」から「支える側」に回り、高齢者も「引退」しない時代は目前に迫る。」という内容の記事でした。

今、日本社会において、働く年齢構成が様変わりしつつあります。この変化は、当センターの会員にも表れています。会員の年齢構成を見ますと、69歳までの会員は、33.5%と年々減少傾向にあり、70歳以上の会員が66.5%を占めていることから、会員の平均年齢は、72.9歳となっています。

このことから、今後のセンターの働き手は、70〜79歳を中心とする年齢構成で進むものと考えられ、元気な高齢者をさらに増やしていく役割を担っていくのが、シルバー人材センターとなるでしょう。

このような中で、当センターは、平成28



開会の挨拶を行う雪岡理事長=アステホール

年度の受注件数が増加しているものの、事業実績額は、前年度と比較して約1千500万円の減額、率にして3.4%の減となりました。センターでは、これを受けまして、新たな就業開拓への取り組みを強化し、実績額の回復に努めていくとともに、派遣事業の拡充に向けた取り組みを行い、会員の安全安心な就業の改善を図ってまいりたいと考えています。

会員の皆様には、常日頃から安全就業に対する危機管理意識をしっかりと持っていたりしながら、ますますご健勝でご活躍されますことを祈念いたします。」などと挨拶しました。

続いて、来賓の大塩民生川西市長と久保義孝川西市議会議長からのご祝辞、来賓紹介の後、定時総会議長に矢野龍雄会員(川西班)が選出され、議事に入りました。

最初に、「平成28年度事業報告について」と、「平成29年度事業計画及び収支予算、資金調達及び設備投資の見込みの報告について」が報告されました。

次に、議案第1号「平成28年度決算について」、議案第2号「理事長に対する権限委任について」の提案説明が順次行われ、審議を経ていずれも原案どおり承認され、総会を終了しました。

事務局の新しい職員を紹介します

センター事務局では、この4月の職員異動により、4人の新しい職員が加わっていますので、ご紹介します。

事務局長 中西 成明

4月1日付で、事務局長に就任いたしました。

少子高齢化がますます進み、本格的な人口減少社会の到来の中、国では、「一億総活躍社会」の実現に向けて動き出しており、今後、高齢者の活躍が求められています。

こうした状況下では、シルバー人材センターの役割は重要なものであり、会員の方々の活躍に期待しているところです。



皆さんの健康、生きがいづくりに少しでも寄与できるように、就業の機会の拡大をめざし、精一杯努めさせていただきますので、よろしくお願いたします。

経営事業課

企業担当 坂根 智恵

4月よりお世話になっております。

センターで、主に企業関係を担当させていただいております。この業務は、会員の皆さんが継続的に仕事に就いていただけることも多いので、非常に重要な役割を担っていると感じております。就業機会をもっと増やしていきたい、社会参加と生きがいを感じていただけるように、会員の皆さんと接しながら努力していきます。

たいと思っています。

まずは業務に一日でも早く慣れ、皆さんに名前を覚えていただけるように頑張ります。



経営事業課

配布担当 河村 秀星

4月から、主に広報かわにしや民間のチラシなどの配布業務、公園などの除草後の防草シート設置業務の手配などを担当しています。

どの仕事も会員の皆さんと連絡を取り合う機会が多いので、



で、そのときに聞いたお話を基に、今後も皆さんが働きやすい環境を作れるよう精一杯頑張っていきたいと思っています。31歳の未熟者ではありますが、どうぞよろしくお願いたします。

経営事業課（臨時職員）

公共担当 井谷 定男

担当は、公民館やキャンプ場の管理、アステホール内の設営等の業務依頼です。



歳は少しとっておりますが、仕事に対する意欲は、まだまだ衰えておりません。

会員の皆さんと、市民の方々の橋渡しとして、一日も早く業務に精通できるように頑張りたいと思いますので、何卒よろしくお願いたします。



平成28年度の安全状況及び平成29年度の「事業計画」に基づく、安全活動の概要をお知らせします。

活動の趣旨へのご理解と、「事故ゼロ」を目指した就業へのご協力をお願いします。

平成28年度の安全状況

平成28年度 事故発生件数	
傷 害	4件
賠 償	5件
合 計	9件

平成28年度に発生した事故は9件、内訳は、傷害事故4件(全て就業中に発生)、賠償事故5件でした。

昨年度は、10月に397日継続した「無事故連続日数」が途絶えた

後、12月まで3カ月連続で傷害事故が発生するなど、事故総数としては、対前年比で傷害、賠償とも各1件増という結果になりました。また、傷害事故は4件とも「つまづき・転倒」によるものでした。

平成29年度も、安全就業の最終目標である「事故ゼロ」を目指し、「安全は何よりも優先する」を合言葉に、安全就業に努めましょう。

平成29年度事業計画概要

一、安全就業強化月間の活動

全国シルバー人材センター事業協会が、毎年7月に推進する『安全・適正就業強化月間』において、次の取り組みを実施しています。

- ① 全国統一スローガンの掲示
- ② 安全委員による就業現場の安全パトロールと、安全指導
- ③ 安全就業標語の掲示

二、安全で信頼されるシルバー組織の構築

① 全国シルバー人材センター事業協会及び兵庫県シルバー人材センター協会の指針に基づき、日常安全活動の強化

② 事故事例・安全情報の共有と、再発防止の徹底

三、就業会員に対する安全指導の徹底

① 過去の事故事例を教訓に、再発防止対策の徹底

② 「安全就業基準」に基づいた安全就業の遵守徹底

四、「センターだより」の活用

① 安全就業啓発記事で、安全意識の向上を図る。

② 事故事例の原因・対策を紹介し、再発防止に活かす。

六、安全就業に関わる啓発活動への取り組み

① 兵庫県シルバー人材センター協会の安全情報を発信

② 「安全適正就業ニュース」や「交通安全ニュース」などの安全情報を有効活用

七、講習会の実施

① 「救命救急講習会」を開催

② 「交通安全講習会」を開催

平成29年度安全委員会の構成員

- 委員長 雪岡 健次
 - 委員 藪野 俊介
 - 西 久夫
 - 大野 宏彦
 - 田尻 博哉
- (敬称略)

今年の夏は スーパー猛暑!?

「熱中症ゼロ」に!!

生き活き “健康” ①

「健康で幸せに暮らし続けたい。寝たきりや認知症にならないで生涯を全うしたい。このことは私たち共通の願いであり、永遠のテーマです。今号から、川西市健康福祉部健康政策室(市保健センター内)と連携しながら、健幸づくりへの取り組みについて、連載していきます。

「熱中症」は、気温などの環境条件だけでなく、人間の体調や暑さに対する慣れなどが影響して起こります。気温がそれほど高くない日でも、湿度が高い・風が弱い日や、体が暑さに慣れていない時は注意が必要です。

★今年の夏は全国的に気温は平年並か高く、暑さの厳しくなる日があるそうです。熱中症傾向では、7月～8月は近畿各地で「警戒」や「厳重警戒」ランクになると、日本気象協会は予測しています。

※急に暑くなった日や、業務の初日などは 特に注意を

人間の体は暑い環境での作業や運動を始めてから3～4日経たないと、体温調節が上手くいきません。このため、急に暑くなった日や、久しぶりに暑い環境で業務した時には、熱中症で倒れる人が多くなっています。

◆高齢者の注意点と予防◆

- のどが渇かなくても、こまめに水分補給。
のどが渇いたと感じる前に、こまめに水分を取り、適度な塩分補給を!
- 涼しい服装を心がけましょう。首の後ろを冷やすのも効果的。
- 体調が悪い時や、体に異常を感じたら無理をしない。
- 部屋の温度をこまめに測り、がまんをしないでエアコンなども活用!

水 1ℓ + 塩 小さじ 1/3

スポーツドリンク



熱中症が疑われるときは・・・甘い判断は禁物です

1. 涼しい場所で、安静にしましょう。
2. 体を冷やしましょう。首の左右やわきの下、足の付け根が効果的。
3. 衣服を緩め、足を高くしましょう。
4. 水分・塩分を、食塩水やスポーツドリンクで補給しましょう。

転ばぬ先の

転倒予防体操



今日からできる筋力維持&アップ体操をご紹介します。

【つま先あげ運動】

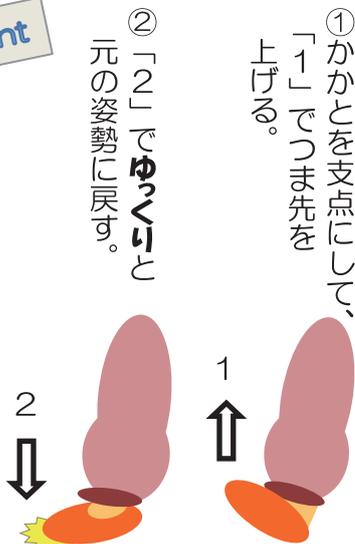
すねの前の前脛骨筋(ぜんけいこつまん)を鍛える運動です。前脛骨筋の筋力が低下してくると、つま先が上がらず、歩行中につまずきやすくなります。



ゆったりと椅子に座り肩幅ほどに足を開きます。
目標量は左右それぞれの足で20回×2セットです!

★1 Point

反対の足を甲の上に乗せて行うと、負荷があまりありません。



② 「2」でゆっくりと元の姿勢に戻す。

① かかとを支点にして、「1」でつま先を上げる。

中期計画
チャレンジ
& トライ

当センターでは、近年のシルバー人材センターを取りまく社会環境の変化等への確に对应していくため、平成29年度から33年度の5年間の事業展開の指針となる「中期計画」を生かきセンター「チャレンジプラン」を策定しました。同計画には、センターの運営を計画的かつ着実に取り組んでいくための6項目の達成すべき目標と実現方策を掲げています。今号からシリーズで、この6項目の「現状と課題」を示し、その課題に対する「具体的な取り組み」の目標を掲載していきます。

① 会員の確保と拡充

■ 現状と課題

◎ 会員数は、平成27年度で1,387人(26年度比較で16人増えて1.2%増。男性会員1,004人・構成比率72.4%、女性会員383人・構成比率27.6%)と、毎年増えているものの、近年は微増の状況となっています。

◎ 会員の年齢構成は、70歳以上が約65%を占めており、高齢化が進んでいます。

◎ 「女性会員」は増加傾向にあるものの、全体では30%に満たず低調です(兵庫県平均で35.6%。伊丹市・尼崎市・芦屋市では40%を超えている)。特に、介護や家事援

助サービス、育児支援分野からのニーズに比べられる会員が少ない状況にあります。

◎ 企業における「定年年齢の引き上げ」と「継続雇用制度の導入」の義務づけにより、60〜64歳の新規入会者が厳しくなる見込みにあります。

■ 具体的な取り組み

● 「入会説明会」の開催を、原則として週2回を維持しながら、積極的な入会促進を図ります。

● 『入会勧誘強化月間』を年2回設定し、地域班を通じて、会員の知人等紹介のチラシやリーフレットの配布をきつかけとする「口コミ」によるPR活動を強化します。

● 市広報誌、センターだより、ホームページに女性会員向けの仕事内容を掲載するなど、ターゲットを絞った広報活動を展開し、『夫婦会員』の入会促進に努めます。

● 老人クラブや自治会などの地域団体、高齢者福祉施設などとの連携を充実します。

● 入会したけど、「思うような仕事がない」、「一向に声が掛からない」ということが極力ないように、就業率(平成27年度74.3%)の向上や会員継続へのフォローに努め、取り組むなど、「退会」への抑制に努めます。

がんばってます!! 職場訪問



個人宅での植木剪定

ヘルメットを着用し、安全と熱中症に、十分注意しながら作業します。



「川西バスターミナル」南側花壇の除草

センターの会員は、川西市の玄関口的美観維持に一役買っています。

地域班の活動紹介 (東谷ブロック)

4月25日(火)、東谷ブロックが、「妙見の森 バーベキューテラス」でバーベキューの会を行い、約50名が参加し、親睦を深められました。

能勢電鉄「妙見口」駅で集合し、ハイキングを兼ねてケーブル乗り場まで歩き、「妙見の森ケーブル」でバーベキューテラスまで行きました。

バーベキューテラスの食材セットに加え、皆さんお好きな食材や飲み物を持ち寄り、大変盛り上がりしました。

バーベキュー終了後は現地で解散し、妙見山にお参りに行く方や、残って散策される方など、皆さんそれぞれ楽しまれたそうです。

当日の様子を紹介します。



「妙見の森ケーブル」を楽しみにしていた方も多かったようです。



好きな食材を持ち寄り、楽しい会話に花が咲きました。



バーベキューはもちろん、会員さん同士で話も弾み、非常に楽しい会となりました。参加された皆さんから「次もまたやろう」の声を多くいただき、班長・世話人一同、大変嬉しく思いました。

(井関ブロック代表)

「センターだより」への
原稿や写真を募集します

●私のふるさと 懐かしい郷里の思い出、美しい風景、変わった風習、美味しい郷土料理のことなど、何でも結構です。郷里の地名を明記し、600

～800字で。できれば写真つき。
●私の健康法 日ごろから取り組んでいる健康づくりや食生活などを400～600字で。できれば写真つき。

●思い出の旅 国内・海外旅行は問いません。旅行案内ではなく、思い出や感想を600～800字で。写真つき。

●写真 「孫と私」、「ほのぼの家族」、「私の結婚式」、「懐かしい新婚旅行」、「我が家のペット」、「思い出の景色」、「自慢の写真」など、テーマは自由です。簡単な説明文も。

◆応募は、事務局に持参か、郵送でお願いします。

(担当＝村山)

事務局からのお知らせ

講習会のご案内

▼認知症

日時 9月27日(水)
13時30分～15時

場所 センター12階会議室

講師 キャラバンメイト

内容 認知症を学び、地域で

支えよう

定員 先着20名

▼救命救急

日時 10月4日(水)
13時～16時

場所 所川西市消防本部

3階大会議室

講師 川西市南消防署救命救急士
定員 先着20名

▼毛筆筆耕

日時 11月1日(水)、8日
(水)、15日(水)

場所 センター12階会議室

講師 古賀 七五三男氏

内容 年賀状宛名書と文字の

練習

定員 先着20名

申し込みは

いずれも8月7日(月)から

センター事務局へ

☎(758)6234

ボランティア活動のご案内

多数ご参加ください!!

日ごろお世話になっている地域への奉仕と、センター事業のPRを目的に、今年も以下のとおり「清掃ボランティア活動」を実施しますので、参加者を募ります。

場所 キセラ川西せせらぎ公園(当センター事務所の南側)

※7月開園の見学を兼ねて参加してください

日時 10月13日(金)〔雨天の時は16日(月)〕午前10時～12時

参加希望者は
9月29日(金)までに
センター事務局へ
☎(758)6234

安全就業標語の入選作品を発表

平成29年度の安全就業標語を募集したところ、163点の応募がありました。力作の中から審査の結果、次の5点を優秀作品として選考し、事務所内に掲示しています。(敬称略)

【最優秀賞】

怖いのは 慣れと
油断と 思い込み

藪野 俊介

【優秀賞】

ま、いいか!
こんな時こそ 要注意

湯川 憲二

◆事故は自信と慣れの落とし穴
毎日初心を忘れずに

池松 洋子

◆『おかしいな』
気付いた時に

再確認

山本 侖

◆ルール無視

その行動が 事故の元

村山 秀宗

「シルバー保険」について 医療費は対象外です

シルバー人材センターでの就業は、会員との雇用関係がないため、労災保険の適用はありません。そこで、万一の傷害を補償する「シルバー保険」に加入しています。

平成29年度からの「シルバー保険」は、左表のとおり補償内容となり、医療にかかる費用については含まれていません。「シルバー保険」は、医療費を支払うものではありませんので、治療は、会員の皆さんが加入している「健康保険」で行ってください。ただ、このことになりません。

なお、事故が発生した時は、ケガの状態や事故の内容を、直ちにセンターへ連絡してください。

シルバー保険(傷害)の補償内容

補償区分	補償額
通院 (90日まで)	1日あたり 2,000円
入院 (180日まで)	1日あたり 3,000円
死亡・ 後遺障害	最大 900万円

※誤って物を壊す、人にケガ等をさせた時の保険は、別途に加入しています。